

9月の園だより

9月の行事予定		
1	火	
2	水	
3	木	体操教室すわん・きりん・たか
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	体操教室すわん・きりん・たか
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	誕生日会
16	水	避難訓練
17	木	身体測定 体操教室すわん・きりん・たか
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	体操教室すわん・きりん・たか
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	

2020年度も半分近くを修了いたしました。まだまだ残暑が厳しく、このままずっと夏が続くのでは？と心配になりますね。しかし、夕方を過ぎると、ヒグラシ(カナカナ…となくセミ)や秋の虫の鳴き声が聞こえ、あれ？昨日より日の入りが早くなったかな？と気づくことがあります。次の季節はちゃんと準備されているようにも思え、もうじき実りの秋、子どもたちも実りの時期を迎えます。誰にも、生まれながらにしてプログラムされている成長・発達のだん筋ではありますが、周囲の大人がどのように関わり、どのように環境を整えたかにより、その熟し方には違いが出てきます。幼児期(小学校就学まで)は、人間を木に例えると“根っこ”の部分。一人一人の持ち味を引き出し、枝葉を伸ばし花を咲かせ実るために必要な養分(愛情!)を今、たっぷり注ぎ、“根っこ”をしっかりと育てたいですね。

園長 室田 尚子



お知らせ

今年度の年長児お泊り保育(10/30.31)は、宿泊施設「もりのいえ」の都合により中止となります。代わりに園内での行事(ディキャンプ)を計画しています。詳しくは後日お知らせいたします。



個人面談について

意向調査にご協力ありがとうございました。対面、オンライン等個別のご意向にお応えしながら随時実施致します。担任より個別にお声かけいたしますので、よろしくご協力ください。

9月1日は防災の日！～できることから始めよう～

☆突然襲ってくる災害。普段から出来ることをしておけば「初めてのことばかり！」という焦りを少しは減らせるはず。分かっていてもできない人は「防災の日」というこのチャンスを利用して出来ることから始めてみましょう。

① 非常時携行品、備蓄品の過不足、賞味期限チェック

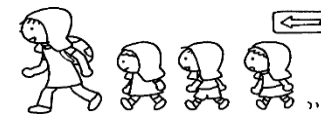
例えば赤ちゃんが生まれて紙おむつや粉ミルクが必要になったり常備品が増えたりしていませんか？非常食や備蓄品の期限も確認しましょう。

② 懐中電灯やラジオは動く？防災グッズの稼働チェック

蓄電池の劣化で手回しラジオが使えなくなっていた。ビニール製のカップがくっついて使えなかった。充電用のケーブルが昔のままだった…ということも！

③ 賞味期限が近い非常食は実際に食べてしまおう。

賞味期限が迫った非常食などがあったら試しに食べてみるのがおすすめ。減った分は補充を忘れずに。



④ 真っ暗な中でどう過ごす？停電体験。

今は昔に比べると停電という現象がかなり減少しています。だからこそあえて真っ暗な暗闇を体験してみるのもプチ防災のひとつ。消せる電気をすべて消して懐中電灯を探すところから。真っ暗だとどれだけ大変か分かるはず。

⑤ 避難場所の確認

何かあった時の避難場所の確認、そして実際に避難場所まで歩いてみるのも大事ですね。



研修を受けました！

◎危機対応コミュニケーション研修(オンデマンド研修)

8月7日 大久保 中村

◎夏の保育アカデミー講習会(オンライン研修)

8月22・23・29・30日 室田

※感染症対策のため、集合研修への参加は極力自粛しています。

保育園では毎月一回、全園児と職員で、火災や地震・風水害を想定して避難訓練をしています。また園児と職員のおおよそ3日分の飲料水、食料を備蓄しています。